

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 4 月 22 日現在

機関番号：14401

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2013～2014

課題番号：25884040

研究課題名(和文)新出土文献の読解を通して探る中国古代思想の形成と展開

研究課題名(英文)A Study of Ancient Chinese Intellectual History from Recently Excavated Bamboo Manuscripts

研究代表者

中村 未来(NAKAMURA, Miki)

大阪大学・文学研究科・助教

研究者番号：50709532

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,000,000円

研究成果の概要(和文)：先秦時代の一次資料(新出土簡牘)には、経書関連文献や、古代聖賢の言行を記す文献が散見する。本研究では、主に南方の楚地域との関連が指摘されている「清華大学蔵戦国竹簡(清華簡)」を研究対象とし、そこに含まれる経書関連の佚篇や逸詩を中心に検討した。その結果、清華簡が多くの経書を引用して解釈しつつも、伝世文献とは異なる、独自の思想や表現方法をも併せ持つものであったことを明らかにした。

本研究は、従来、資料的制約のために窺うことのできなかつた先秦期における経書の受容や変遷を究明する上で、重要な足掛かりになるものと考えられる。

研究成果の概要(英文)：Several recently excavated bamboo manuscripts serve as primary sources for the pre-Qin Dynasty era in China, and contain many documents about Confucianism and the words and acts of ancient Chinese saints. This study chiefly analyzes the "Qinghua Bamboo Slips (清華簡)," which are closely related to thought in southern Chu (楚), with an especial focus on the texts related to Confucianism that scholars had believed to be lost. Ultimately, I demonstrate that the Qinghua Bamboo Slips not only quote and interpret many Confucian scriptures but also contain thoughts and expressions that are unique among ancient literature.

This work also provides scope for further studies on the reception of Confucian classics in the pre-Qin Dynasty era.

研究分野：中国哲学・印度哲学・仏教学

キーワード：出土文献 出土資料 中国哲学 中国思想史 Bamboo slips 竹簡 清華大学蔵戦国竹簡 Zhangguo Period

### 1. 研究開始当初の背景

春秋戦国時代(前770～前221)は、多くの思想家が自らの論説を頼りに諸国を奔走した諸子百家全盛の時代である。この先秦時代に生まれた思想や学説は、漢代には訓詁学の中で、また宋代・明代には性理学において、清代に入っては考証学の中で解釈され、再検討されてきた。そして、その後2500年たった現代においてもなお、我々に強い影響を与え、多くの研究者によって取り上げられ続けている。しかし、中国古代思想の検討は、常に資料的制約のため、断片的なものとならざるを得なかった。

ところが、1970年代以降、多くの新出土文献(戦国時代や秦漢代の一次資料。竹簡・木簡・帛書など)が発見され、事態は急変した。2000年以上の時を経て発見された新出土文献は、現在、中国古代思想を研究する上で世界的にも注目を集め、盛んに取り上げられていると言える。配列案や釈文に関する書誌文献学的指摘はもちろんのこと、文字学や音韻学、さらには歴史学など様々な面からアプローチが行われ、関連文献が続々と刊行されてきている。また、この事態を受け、中国や台湾、アメリカでは次々と国際学会が開催されており、研究はまさに日進月歩、新たな展開を迎えていると言える。

しかし、中国各地の研究者が精力的に新出土文献を対象に研究を行っている一方、日本では、次第にその重要性が認識されてきたとはいえ、疑古か信古かという積年の問題を前に、いまだ本腰を入れて研究に取り組む者は少ない。古来、我が国の文化や思想にも多大な影響を及ぼしてきた中国古代思想を、他国の研究に遅れを取ることなく、冷静な視点から捉え直すことは、歴史や文化の変遷、そして思想の影響関係を明らかにする上でも、必要不可欠なことと考える。

### 2. 研究の目的

本研究は、近年相次いで発見されている中国古代の新出土文献を研究対象とする。伝世文献に加えて新出土文献を積極的に取り上げ読解することにより、従来、資料的制約により不明であった古代思想史の空白を埋め、その変遷過程を明らかにすることを目指す。

特に、戦国時代の楚地域(現在の湖北省)より出土した竹簡群には、『詩経』や『書経』などの経典類や、楚地関連文献が多く含まれている。本研究において、それらの文献を個別的・文献学的視点から検討することにより、佚書や異本整理などの基礎的研究が飛躍的に進むだけでなく、新出土文献の読解を通して、古代思想を統合的視点から検討し直すことにより、中原地域より南蛮として扱われてきた楚地域における文化・思想的特色の解明にも寄与し得るものと考えられる。

### 3. 研究の方法

近年、新たに出土し図版や釈文が整理・刊行されている戦国竹簡は、膨大な量に及ぶ。その中には、六芸類(儒家の経典と関連のある文献)・史書類(歴史書関連文献)・諸子類(諸子百家の思想と関連のある文献)など、幅広い内容の文献が含まれている。特に、六芸類において「詩」「書」はその中心的文献であったと考えられる。戦国竹簡中に見られる「詩」「書」関連文献は次の通り。

#### 【「詩」に関する文献】

- (1) 上博楚簡……『孔子詩論』、『逸詩』(『緇衣』にも一部「詩」の引用が見える。)
- (2) 郭店楚簡……『唐虞之道』に「虞詩」の引用が見える。
- (3) 清華簡 ……『周公之琴舞』、『芮良夫毖』、『蟋蟀』

#### 【「書」に関する文献】

- (1) 清華簡 ……『尹至』、『尹誥』、『程寤』、『保訓』、『耆夜』、『周武王有疾周公所自以代王之志(金縢)』、『皇門』、『祭公』、『說命』三篇
- (2) 上博楚簡、郭店楚簡……『緇衣』に以下の文献が引用されている。『尹誥』、『君牙』、『呂刑』、『君陳』、『祭公之顧命』、『康誥』、『君奭』
- (3) 郭店楚簡……『成之聞之』に『大禹』、『君奭』、『詔命』、『康誥』が引用されている。

上記文献の釈文には、いまだ文字や字義の曖昧なものが多い。また、伝世文献とおおよそ合致する内容の文献から、一部の引用のみが伝世するもの、さらにはこれまで全く見ることのできなかった佚書まで、その内容や変遷過程は様々である。

そこで、上記の検討にあたっては、報告者のこれまでの経書研究を発展させる形で、まず、「詩」「書」関連文献の文字を一字一字確定し、正確な釈文を定めた。続いて、これらの内容を伝世文献と比較することにより、経書の受容や思想的変遷、各文献の特質について明らかにすることを目指した。

なお、以上の検討を進めるにあたり、図版では確認できない不鮮明な文字や形制上の問題がある場合には、現地へ赴き、竹簡の実見調査を行い、所蔵機関の研究者と直接議論した。また、本研究を通して得られた成果は、随時、学会や研究会にて口頭発表し、学術誌へ論文を投稿している。

### 4. 研究成果

本研究においては、特に楚地より出土した可能性が指摘されている「清華大学蔵戦国竹簡(清華簡)」に含まれる経書関連文献『傳説之命(說命)』、『周公之琴舞』、『ゼイ

(クサ冠+内)良夫恚』を取り上げて検討した。その結果、以下の成果が得られた。

(1)清華簡『傳説之命(説命)』について

清華簡『傳説之命(説命)』は偽古文『尚書』説命と深く関連する文献である。しかし、両者を比較すれば、篇題・呼称表記・分篇箇所・語句・引用故事など、様々な相違点の存在に気づく。特に報告者は清華簡『傳説之命(説命)』の特徴として、偽古文『尚書』説命以上に、人格神的「天」の記述が散見することを指摘した。また、清華簡『説命』には、天が直接、臣下(傳説)に命を下しているかに見える記述が存在するが、ここには殷王武丁の存在も確認できる。そのため、該所の内容は「天 王 臣下」という階層制度を保持した従来の天命の枠組みを超えるものではない可能性が高いことを述べた。

(2)清華簡『周公之琴舞』について

清華簡『周公之琴舞』には、今本『毛詩』敬之が含まれており、『詩経(『毛詩』)』や『楽経』、さらには『書経(『尚書』)』研究の観点から多くの研究者の注目を集めている。本研究においては、まず、複数の逸詩を含む本篇全体の釈読を行い、次いで『周公之琴舞』の特徴として、以下の5点を指摘した。

本篇の篇題や使用語句などが、舞踊を連想させる特徴的なものであること。

本篇に見える「敬之」詩と今本『毛詩』敬之とを比較することにより、戦國中晩期には、語句に僅かに揺らぎが見られ、複数の詩(句)が綴合されているものの、『毛詩』敬之詩全体が、ほぼ現行本と近似したまとまりを持った形で存在していたこと。

経書である今本『毛詩』とは異なり、本篇には、文献の冒頭にその詩の詠まれた状況を示す場面設定が述べられていること。

また、この場面設定の明記が、清華簡に含まれるその他の文献にも共通する特徴であること。

さらに、本篇には天が降す徳の記述や、統治者や臣下にも徳の修養が求められていたこと、祖考祭祀に関する内容が多く見られること等から、子思学派が周公旦に仮託して編纂した文献であった可能性があること。

(3)清華簡『ゼイ(クサ冠+内)良夫恚』について

清華簡『ゼイ(クサ冠+内)良夫恚』についても、まずはその全文を釈読し、次いで他の伝世文献との比較を試みた。その結果、ゼイ(クサ冠+内)良夫の故事として、『国語』や『史記』に見られる「專利」批判に加え、本篇にも「詩」や「書」で説かれる教誡的内容が多く含まれていることが明らかとなった。また、本篇には今本『毛詩』伐柯や逸詩

「支」の一部と考えられる詩句の引用が見られたが、すでにそれらは本来の意から転じた成語的用例として記述されていたことを指摘した。

以上の検討を通して、経書(特に「詩」「書」)関連文献に見える佚文・逸詩の釈文整理が進展し、また、従来不明な点の多くあった楚地における経書関連文献の受容状況や特質についても、その一端を明らかにし得たと考える。これらの成果は国内外の学会や研究会で発表し、多くの研究者の意見を賜った。

清華簡を含め、新出土文献には、経書関連文献や、古代聖賢の言行を記す文献が散見する。本研究では、主に清華簡に含まれる佚篇や逸詩を中心に解説を進め、その思想史的意義を検討してきたため、上博楚簡や郭店楚簡に見える経書関連文献については、その一部にしか言及することができなかった。今後は、本研究を足掛かりに、より総合的視野に立ち、中国古代における経書の成立や受容・変遷過程を考究する必要があるであろう。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計5件)

(1)湯浅邦弘・中村未来・福田一也・草野友子「甘肅省出土簡牘調査報告」(第二章「甘肅省博物館参観」を担当,大阪大学中国学会編『中国研究集刊』第58号,2014.12,pp142-145・156-157,査読有り)

(2)中村未来「清華簡『周公之琴舞』の文献的性格」(2014年国立高雄餐旅大學應用日語系「観光、言語、文學」國際學術研討會論文集,2014.11,pp85-102,査読有り)

(3)中村未来「日本における漢籍デジタル図版の公開状況とその意義」(全国漢文教育学会編『新しい漢字漢文教育』第58号,2014.5,pp116-127,査読有り)

(4)中村(金城)未来「上博楚簡『成王既邦』の思想的特質 周公旦像を中心に」(大阪大学中国学会編『中国研究集刊』第57号,2013.12,pp145-169,査読有り)

(5)中村(金城)未来「清華簡『説命』の文献的特質 天の思想を中心に」(大阪大学文学会編『待兼山論叢』哲学篇第47号,2013.12,pp1-15,査読無し)

[学会発表](計6件)

(1)中村未来「清華簡『ゼイ(クサ冠+内)良夫恚』初探」(「漢学」國際學術研討会,2015.3.7,致理技術学院(台湾))

(2)中村未来「清華簡『周公之琴舞』の文献的性格」(第55回中国出土文献研究会,2014.7.13,大阪大学)

(3)中村未来「清華簡『周公之琴舞』の文獻

性質」(2014年國立高雄餐旅大學應用日語系「觀光、言語、文學」國際學術研討會,2014.5.31,高雄餐旅大學(台灣))  
(4)中村未来「清華簡『周公之琴舞』考」(中國出土資料學會(平成25年度大會,第三回例會),2014.3.8,日本女子大學(東京))  
(5)中村(金城)未来「清華簡『周公之琴舞』研究狀況紹介」(第54回中國出土文獻研究會,2013.12.22,島根大學)  
(6)中村(金城)未来「清華簡『說命』的文獻特質——以天的思想為中心」(“簡帛文獻與古代史”學術研討會暨第二屆出土文獻青年學者論壇,2013.10.19,復旦大學(中國))

〔その他〕

ホームページ等

(1)中國出土文獻研究會

<http://www.shutudo.org/>

(2)大阪大學中國哲學研究室

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/chutetsu/>

## 6. 研究組織

(1)研究代表者

中村 未来 (NAKAMURA MIKI)

研究者番号: 50709532

(2)研究分担者

なし

(3)連携研究者

なし